

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成22年10月14日(2010.10.14)

【公開番号】特開2009-63812(P2009-63812A)

【公開日】平成21年3月26日(2009.3.26)

【年通号数】公開・登録公報2009-012

【出願番号】特願2007-231317(P2007-231317)

【国際特許分類】

G 03 G 15/20 (2006.01)

【F I】

G 03 G 15/20 5 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成22年9月1日(2010.9.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

2つの無端ベルトと、前記2つの無端ベルトの少なくとも一方の無端ベルトを加熱する手段と、前記2つの無端ベルトの外周面同士を互いに当接させてニップ部を形成するとともに、前記ニップ部でトナー画像を担持する記録材を挟持搬送しつつ加熱する像加熱装置において、

前記ニップ部は、加圧部材によるバックアップがない無端ベルトの領域同士によって形成されているプレニップ部と、前記加圧部材によるバックアップがある一方の無端ベルトの領域を他方の無端ベルトに当接させている加圧ニップ部とによって形成されるとともに、前記加圧ニップ部の領域内には、前記加圧部材によるバックアップがある無端ベルト領域同士によって形成されている部分を有し、前記ニップ部は、前記プレニップ部から始まり、記録材搬送方向下流側に連続して加圧ニップ部が形成されるよう、前記2つの無端ベルトを支持することを特徴とする像加熱装置。

【請求項2】

前記トナー画像を担持する記録材を、前記プレニップ部で挟持搬送するとともに、前記トナー画像をフローテスターにおける略流出開始温度以上の温度に加熱することを特徴とする請求項1に記載の像加熱装置。

【請求項3】

2つの無端ベルトと、前記2つの無端ベルトの少なくとも一方の無端ベルトを加熱する手段と、前記2つの無端ベルトの外周面同士を互いに当接させてニップ部を形成するとともに前記ニップ部でトナー画像を担持する記録材を挟持搬送しつつ加熱する像加熱装置において、

前記2つの無端ベルトの内側に加圧部材をそれぞれ有し、前記2つの無端ベルトのうち、少なくとも一方の無端ベルトに弛み部を形成し、前記弛み部を他方のベルトに当接させた「弛み当接部」を前記ニップ部に有し、前記「弛み当接部」を、前記ニップ部の最上流側に形成することを特徴とする像加熱装置。

【請求項4】

前記2つの無端ベルトのうち、記録材上のトナー画像担持面に対向する無端ベルトに弛み部を形成することを特徴とする請求項3に記載の像加熱装置。

【請求項5】

前記 2 つの無端ベルトの両方に弛み部を形成することを特徴とする請求項3に記載の像加熱装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 6】

本実施形態においては、定着ベルト 1 1 と加圧ベルト 1 2 は同じ仕様であり、また、定着ローラ 1 3 と加圧ローラ 1 4 は共に同じ仕様の弾性ローラであるので、付勢された荷重による変形量は同じとなる。変形量が同じであるということは、定着ベルト 1 1 内に配置された定着ローラ 1 3 が定着ベルト 1 1 内面に接している長さと、加圧ベルト 1 2 内に配置された加圧ローラ 1 4 が加圧ベルト 1 2 内面に接している長さがほぼ等しい。つまり、定着ローラ 1 3 が定着ベルト 1 1 をバックアップしている長さと、加圧ローラ 1 4 が加圧ベルト 1 2 をバックアップしている長さはほぼ等しい。従って、加圧ニップ部 N 2 の領域内には、加圧部材である定着ローラ 1 3 と加圧ローラ 1 4 とによるバックアップがある無端ベルト領域同士、即ち定着ベルト 1 1 及び加圧ベルト 1 2 の領域同士によって形成された部分を有する。本実施例では、その部分は加圧ニップ部 N 2 全域である。従って、このときの状態は、図 9 に示すように、記録材搬送方向上流側から、ベルト同士の当接によって形成されたプレニップ部 N 1 がある。そしてそのプレニップ部 N 1 に引き続き、各ローラにバックアップされたベルト同士の接触によって形成される加圧ニップ部 N 2 が連続して形成された状態となる。つまり、トータルニップは、プレニップ部 N 1 から始まり、記録材搬送方向下流側に連続して加圧ニップ部 N 2 が形成されるよう、2 つの無端ベルトである定着ベルト 1 1 と加圧ベルト 1 2 を支持する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図1】

